

## 2021 年度研究教育部会全国リーダー研修会報告

開催日時：2022年2月12日（土）9：30～17：00  
会場：Web会議

2021 年度研究教育部会全国リーダー研修会は午前と午後の2部構成で実施された。

### 【午前の部】

#### 1. 研究教育職域における事業の推進について

##### (1) 2021 年度事業報告

##### ・研究教育部会推進委員会活動

2020 年度から『管理栄養士・栄養士養成システムの充実と科学的根拠の蓄積を業とし、その実践活動を通じて、社会へ食と健康の専門職としての責務を果たす』をビジョンとして、医療・福祉・行政・事業所など他の事業部との連携しながら実践活動、栄養士養成を進め、「研究力・教育力の向上」、「倫理綱領の普及」、「会員増対策」、「養成校間のネットワークの構築」を中心に活動した。

##### ・2021 年度事業報告

2021 年 7 月 1 日（木）～ 8 月 31 日（火）にオンラインで全国栄養士大会が実施された。

##### (2) 2022 年度以降の事業計画

（公社）日本栄養士会職域事業部会（7 職域理事で構成）にて、すべての職域において「政策」集団としての「政策につながる」ビジョンを掲げ、事業計画を推進することとなった。研究教育部会の課題について、過去の基本事業を継続しつつ、以下のように細分化した4つの中期目標を掲げ、事業を進めていく。

1：即戦力となる管理栄養士・栄養士を養成するためのカリキュラムの再考と他職域事業部との連携の強化

2：教員の研究力・教育力向上に向けた事業の支援

（教員に対する教育・研究環境の実態調査や教員の資質向上に対する事業の運営）

3：科学的根拠に基づいた栄養学研究の推進

4：専門職（養成）教育システムの基盤整備（Society

5.0 社会を見据えた教育システムの再構築）

その他、事業推進委員会（年5回開催予定）、臨地実習及び校外実習の実際の改訂検討ワーキング会議（年3回開催予定）、実態調査検討ワーキング会議（年3回開催予定）、全国研究教育部会栄養士研修会や研究教育部会全国リーダー研修会開催、全国栄養士大会（ACD 開催の関係で、2022 年 7 月 8 日（金）～ 8 月 7 日（日）、オ

ンライン、テーマ：「栄養と環境」、無料で実施）を予定。

#### 2. 日本栄養士会の今後の動向について

##### ・日本栄養士会の将来目標

管理栄養士・栄養士の職能団体の重要業績評価指標（KGI：Key Goal Indicator）長期目標（2020-2030 年）の具体的な数値目標を掲げる予定。

##### ・職域統括事業部

中期目標（2020-2023）（一部のみ掲載）として以下の内容について検討中である（一部抜粋）。1. 各職域の活動の共有化および公益活動の活性化の検討、2. 各職域における政策課題および、事業、調査・研究のバックアップ体制の検討、3. 各職域における人材育成の方向性の検討、4. 各職域における会員増対策の目標設定の検討

#### 3. ブロック別交流

近畿地区ブロック内では、①養成校間の連絡等の体制の整備、②養成校の未入会教員への入会の勧誘、③ブロック研修会の意義等について、具体的な活動等意見交換を行った。

### 【午後の部】

「コロナ禍、そして未来臨地実習及び校外実習在り方を考える」

以下のテーマで、事例報告等の発表が行われた。

・「振替プログラム等を活用した臨地・校外実習の運営」（松本大学 藤岡由美子先生）

・「コロナ禍における臨地実習の実際と今後の課題」（女子栄養大学 恩田理恵先生）

・「コロナ禍におけるオンラインを活用した臨床栄養学実習事例」（武庫川女子大学 前田佳予子先生）

・「振替プログラム等を活用した臨地・校外実習の運営」（龍谷大学 中村富予先生）

・「未来の臨地実習に向けて、国際基準500時間を達成するために」（長野県立大学 笠原賀子先生）

すべての発表後、臨地実習についてのグループディスカッションを行い、臨地実習および校外実習に関して意見交換を行った。

（文責 研教 坂井孝）